

At a glance | 数字で見るガリレイグループ (2024年3月末時点)

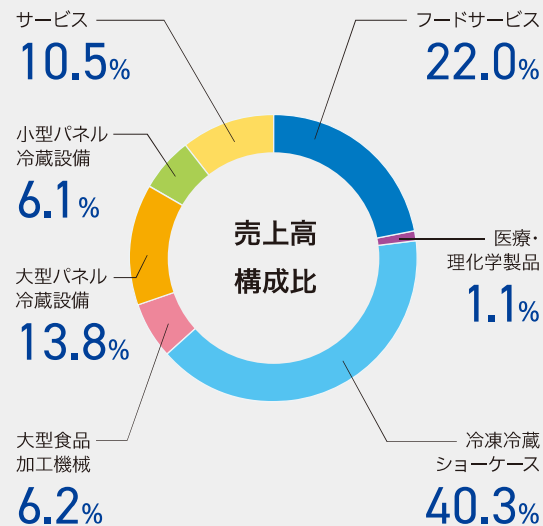
業績

売上高
1,158億円

営業利益
152億円

営業利益率
13.2%

親会社に帰属する
当期純利益
123億円



ブランド

大型ブラストチラー
国内市場占有率 **75**%以上

財務

ROE **14.3**%

DOE **2.4**%

PBR **1.3**倍

PER **9.6**倍

ネットワーク

国内拠点数
106拠点

海外拠点数
13拠点

従業員

従業員数
2,524名

平均年齢
37.3歳

環境

フードロス低減貢献量
73,617t/年

CO₂排出量削減率 (2013年度比)
Scope1・2
33.7%

使用冷媒の温暖化係数 (加重平均)
内蔵型 **1,603** 別置型 **1,596**

社会

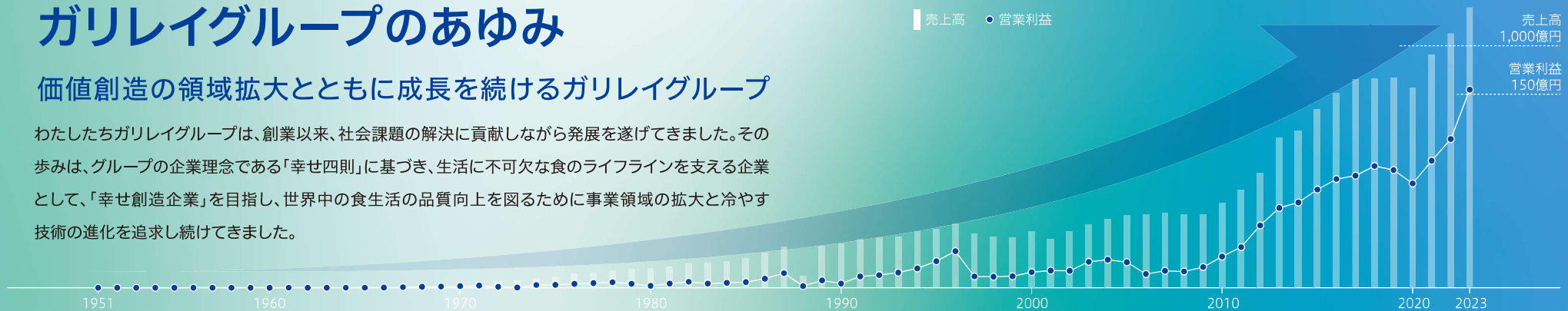
ガリレイアカデミーの
卒業者数 **59**名 P.36

ガリレイ1%クラブ
出資金額 **22**百万円 P.45

ガリレイグループのあゆみ

価値創造の領域拡大とともに成長を続けるガリレイグループ

わたしたちガリレイグループは、創業以来、社会課題の解決に貢献しながら発展を遂げてきました。その歩みは、グループの企業理念である「幸せ四則」に基づき、生活に不可欠な食のライフラインを支える企業として、「幸せ創造企業」を目指し、世界中の食生活の品質向上を図るために事業領域の拡大と冷やす技術の進化を追求し続けてきました。



1951年～1974年

日本の業務用冷蔵庫の基礎を築く



1951年に福島信夫が「福島工業株式会社」を創業。業務用冷蔵庫の製造を開始し、1962年に業界初の業務用冷蔵庫の一体型規格品を開発。自らの手で開発、生産する能力を高め、製造業としての基礎を築いていきました。

- 1951年 大阪市に福島工業設立
- 1962年 業界初の規格冷蔵庫ER型を開発・量産化を開始
- 1964年 冷凍冷蔵ショーケースPOSシリーズを開発・量産化を開始

1975年～1995年

業務用冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケースの専門メーカーへ



高度経済成長を背景とした外食産業の伸長や、食品スーパー、コンビニエンスストアの増加に伴い、業務用冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケースの需要が増加。岡山工場、滋賀工場による量産体制を確立し、専門メーカーとして事業を拡大していきました。

- 1984年 岡山工場設立、生産開始
- 1995年 滋賀工場設立、生産開始
大阪証券取引所(市場第二部)上場

1996年～2018年

温度コントロール技術とグループシナジーで事業領域を拡大



食品の安全性への関心の高まりや、省エネへのニーズが増加。デジタル技術を活用し、温度コントロール技術を使った新事業を切り開いていきました。また、高橋工業、FSP、省研がグループ入りし、グループシナジーによる新たな価値創造のスタートを切りました。

- 2005年 東京証券取引所(市場第一部)上場
- 2009年 高橋工業(現タカハシガリレイ)がフクシマグループに
- 2013年 FSP(現ガリレイパネルクリエイト)がフクシマグループに
省研(現ショウケンガリレイ)がフクシマグループに

2019年～FUTURE

ブランドを「ガリレイ」に統一、パーパス実現に向け挑戦



グループのそれぞれの強みを活かして、食のフィールドを川上から川下まで支えるオンリーワン企業としてグループシナジーの最大化を図るため、事業ブランドを「ガリレイ」に統一。「食」に加え、「いのち」を新たな事業領域に加え、社会課題の解決を通して持続可能な社会の実現に向け挑戦しています。

- 2019年 ガリレイグループ本社ビル完成
社名変更し事業ブランドを「ガリレイ」に統一
- 2022年 パーパス「食といのちの未来を拓く」を新たに策定
- 2024年 日本洗浄機がガリレイグループに